

平成20年度春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成20年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成20年12月16日(火)～17日(水)に東京ガーデンパレスにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者79名、委託関係者40名ほか、計143名の参集を得て、除草剤38薬剤(262点)、生

育調節剤9薬剤(45点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成20年度 春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
1. AH-01液 グリホサートナトリウム塩 :11.5% [明治製菓、北興化学 工業]	ハクサイ	適用性 継続	植調青森 三重農研 (2)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・300mL<100, 150L> 500mL<100L> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対) ハース液剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a 注) ・雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・作物に飛散ないように散布する。
	レタス	適用性 継続	植調研究所 広島農技 (2)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・300mL<100, 150L> 500mL<100L> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対) ハース液剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a 注) ・雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・作物に飛散ないように散布する。
	シソ	適用性 新規	愛知農総試 南九州大学 (2)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・300mL<100, 150L> 500mL<100L> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対) ハース液剤 300mL<100L>	継	継) ・効果、薬害の確認
	ミョウガ	適用性 新規	山形農研農生技 植調研究所 (2)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・300mL<100, 150L> 500mL<100L> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対) ハース液剤 300mL<100L>	継	継) ・効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
AH-01液 [委託者]	ニラ	適用性 新規	山形最上産地研 植調研究所 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	キュウリ	適用性 継続	植調研究所 鹿児島農総セ (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作;一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布す る。 ・ 作物に飛散ないように散布す る。
	スイカ	適用性 新規	山形農研農生技 石川砂丘地 鳥取園試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	カボチャ	適用性 新規	北海道花・野菜セ 宮城園研 石川植防 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ピーマン	適用性 継続	植調研究所 南九州大学 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ピーマン	適用性 継続	南九州大学 鹿児島農総セ (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	実 ・ 継	実) [春夏作;一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布す る。 ・ 作物に飛散ないように散布す る。 継) ・ 薬害について年次変動の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
AH-01液 [委託者]	ダイコン	適用性 継続	植調青森 福岡農総試 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150L> ・ 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。
	サトイモ	薬害 新規	三重農研 鹿児島大陽 (2)	[倍量薬害] ・ 植付直前 ・ 500, 1000mL<100L> ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要	実・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または植付10日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。 継) ・ 植付直前処理での薬害の確認
	ギョウオン	適用性 新規	山形農研農生技 山形最上産地研 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150L> ・ 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ハービ-液剤 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
2. AKD-7164水和 シアンゲン:50% [アタカネショウ]	直播タマネギ	適用性 新規	北海道花・野菜 北海道北見農試 (2)	[一年生雑草(ワカサを除く)] ・ 播種後出芽前 雑草発生前 ・ 50, 75, 100g<100L> ・ 土壌処理 対) 一任	継	継) ・ 効果、薬害の確認
3. ALH-0731乳 新規化合物:720g/L [アリス ライフサイエンス]	タマネギ	作用性 新規	北海道農研 植調北海道 (2)	[一年生雑草] ・ 定植活着後 雑草発生前 ・ 200, 300mL<100L> ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) コ-コ-サン乳剤 400mL<100L>	—	(作用性)
	タマネギ	作用性 新規	北海道農研 植調北海道 (2)	[一年生雑草] ・ 定植活着後 雑草発生前 ・ 200, 300mL<100L> ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) コ-コ-サン乳剤 400mL<100L>		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
4. ALH-0831 (旧S-604) 乳 クレシム 23% [アリス ライフサイエンス]	ホレンソウ	適用性 継続	宮城園研 長野野菜花き試 京都丹後 鹿児島大隅 (4)	[一年生イネ科雑草] ・ 生育期 イネ科雑草3~5葉期 ・ 50, 75mL<100L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ナブ乳剤 150mL<100L>	実 ・ 継	実) [春夏作;一年生イネ科雑草] ・ 生育期 イネ科雑草3~5葉期 ・ 全面茎葉処理 ・ 50mL<100L>/10a 継) ・ 75mL (水量100L) 処理での薬害についで
5. ALZ-0642液 ヨルビメタリン:19.5%、 クロルピクリン:79.5% [アリス ライフサイエンス]	ホレンソウ	適用性 新規	山形農研農生技 <中間> 植調研究所 長野野菜花き試 (3)	[一年生雑草] ・ 播種前 雑草生育前 ・ 10, 15, 20L ・ 土壌くん蒸処理 対) クロルピクリン液30L (3.0mL/穴) 処理方法 7日間くん蒸後、被覆を除去し、 7日後を目安に耕起、さらにその後 3日以上放置し定植する。	継	継) ・ 効果、薬害の確認
6. ANK-553細粒 ベンデイメタリン:2% [BASFアグロ]	ハクサイ	適用性 継続	福島農総セ 香川農試*別紙 (2)	[一年生雑草 (キク科、ツクサ科を除く)] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 4, 5, 6kg ・ 土壌処理 対) ゴーゴーサン乳剤30 300mL<100L>	実 ・ 継	実) [春夏作、露地;一年生雑草 (キク科、ツクサ科を除く)] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 5~6kg/10a 継) ・ 低薬量 (4kg) での効果の確認
	レタス	適用性 継続	和歌山農試 福岡豊前 (2)	[一年生雑草 (キク科、ツクサ科を除く)] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 4, 5, 6kg ・ 土壌処理 対) ゴーゴーサン乳剤30 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	アスパラガス	適用性 継続	植調北海道 長野野菜花き試 (2)	[一年生雑草 (キク科、ツクサ科を除く)] ・ 萌芽前 雑草発生前 ・ 4, 5, 6kg ・ 土壌処理	実 ・ 継	実) [春夏作、露地;一年生雑草 (キク科、ツクサ科を除く)] ・ 萌芽前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 5~6kg/10a 継) ・ 低薬量 (4kg) での効果の確認
	サトイモ	適用性 継続	新潟農総園研 植調研究所 宮崎畑園 (3)	[一年生雑草 (キク科、ツクサ科を除く)] ・ 植付前 雑草発生前 ・ 4, 5, 6kg ・ 土壌処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ANK-553細粒	ショウガ	適用性 継続	植調研究所 千葉大環境健康フー ルト (2)	[一年生雑草 (キ科、ツクサ科を除く)] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	継	継) ・ 効果、薬害の確認
7. BAH-0805乳 シメタミトP:212.5g/L、 ベンテメタリン:250g/L [BASFアグロ]	タネキ	適用性 新規	北海道花・野菜セ 北海道北見農試 植調北海道 (3)	[一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 200, 300, 400mL<100L> ・ 土壌処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認
8. BAS-656乳 シメタミトP:64% [BASFアグロ]	ブロッコリ ー	適用性 継続	新潟農総園研 福岡農総試<中間> (2)	[一年生雑草 (アザ科、アカザ科、アブラ ナ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 50, 60, 70mL<100L> ・ 土壌処理 対) アグロマックス水和 250g<100L>	実	実) [春夏作、露地;一年生雑草 (ア ザ科、アカザ科、アブラナ科を除 く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 50~70mL<100L>/10a 注) 夏期高温時での使用を避ける
9. BCY-069くん蒸 メチルイソシアネート :30.0% [ハイエール クロップ サイエ ンス]	ホレンソ ウ	適用性 新規	植調研究所 広島農技 (2)	[一年生雑草] ・ 播種前 雑草発生前 ①被覆資材除去1日後に播種 ②被覆資材除去7日後に播種 ・ 26.6, 40.0kg ・ 土壌くん蒸処理 処理方法) 被覆材下にスプレーを挿入 (空間確 保) →処理区短辺一方からノズルを 挿入し 薬剤を噴出	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ショウガ	適用性 継続	植調研究所 千葉大環境健康フー ルト (2)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ①被覆資材除去1日後に定植 ②被覆資材除去7日後に定植 ・ 26.6, 40.0kg ・ 土壌くん蒸処理 処理方法) 被覆材下にスプレーを挿入 (空間確 保) →処理区短辺一方からノズルを 挿入し 薬剤を噴出	継	継) 効果、薬害の確認
10. CG-119α乳 S-メトラクロール 82% [シンジエンタ ジャパン]	サトイ モ	適用性 新規	宮城園研 三重農研 奈良農総セ 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草 (一年生ガヤツクサ科を 含む)] ・ 植付後萌芽前 雑草発生前 ・ 70, 130mL ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) テュアル乳剤 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草: ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
11. HCW-2017ロアブル DCMU:50% [保土谷化学工業]	ヤマノイモ	作用性 新規	青森畑園試 (1)	[一年生雑草] ・ ①植付直後 雑草発生前 ・ ②植付後萌芽前 雑草発生始期 (3葉期以内) ・ 100, 200mL<100L> ・ 茎葉兼土壌処理 ・ 展着剤加用	継	(継) ・ 効果、薬害の確認
	ヤマノイモ	適用性 新規	北海道十勝農試 三重農研<中間> (2)	[一年生雑草] ・ 植付後萌芽前、 雑草発生始期 (イネ科雑草3葉期 以内) ・ 100, 150, 200mL<100L> ・ 茎葉兼土壌処理 ・ 展着剤加用 対) ロックス水和剤 100g<100L>		
12. Hoe-866液 グルホネート18.5% [ハ・イエル クロップ サイエ ンス]	タケノコ	適用性 新規	植調研究所 植調埼玉 福岡林業 (3)	[一年生雑草] (除草効果) ・ 幼生育期 雑草生育期 (草丈20cm以下) ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 茎葉処理 (タケノコへの影響) ・ タケノコ発生直前 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 土壌処理	継	(継) ・ 効果、薬害の確認
13. NC-622液 グリホサートカリウム塩:48% [日産化学工業]	タマネギ	適用性 新規	植調北海道 (1)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要	継	(継) ・ 効果、薬害の確認
	キュウリ	適用性 新規	植調北海道 岩手農研南部 植調研究所 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要	継	(継) ・ 効果、薬害の確認
	キュウリ	薬害 新規	植調研究所 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ナス	適用性 新規	植調北海道 新潟農総園研 植調研究所 京都丹後 (4)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要	継	(継) ・ 効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
NC-622液	ナス	薬害 新規	植調研究所 京都丹後 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ピーマン	適用性 新規	植調北海道 岩手農研南部 植調研究所 長野南信試 (4)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ピーマン	薬害 新規	岩手農研南部 長野南信試 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ダイコン	適用性 新規	植調北海道 植調青森 和歌山農大<中間> 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ダイコン	薬害 新規	和歌山農大<中間> 鹿児島大隅 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	サトイモ	適用性 継続	奈良農総研 鹿児島大隅 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起または植付前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 250mL<25L>	実 ・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または植付前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 継) ・ 植付直前処理での薬害について 年次変動の確認
	ヤマノイモ	適用性 継続	三重農研<中間> (1)	[一年生雑草] ・ 耕起または植付前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 250mL<25L>	継	継) 効果、薬害の確認
	オリーフ [®] (葉)	適用性 新規	香川府中 福岡果樹苗木 (2)	[スギナ] ・ 生育期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 1500mL<25, 50, 100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイポート [®] 2000mL<25L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草: ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
NC-622液	オリーフ [®] (葉)	薬害 新規	香川府中 福岡果樹苗木 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 1500, 3000mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	クラキ	適用性 新規	山形最上産地研 〈中間〉 徳島中山間 (2)	[一年生雑草] ・ 穂木採取前 (クラキ生育期) 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100L>, 400mL<25L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード [®] 500mL<25L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	クラキ	薬害 新規	山形最上産地研 〈中間〉 徳島中山間 (2)	[倍量薬害] ・ 穂木採取3日前 (クラキ生育期) 雑草生育期 ・ 400, 800mL<25L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	薬用ニンジン	薬害 新規	福島会津 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 400mL<25L>, 800mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果、薬害の確認
14. NP-55乳 セトキシメ [®] 20% [日本曹達]	カボチャ	適用性 継続	北海道花・野菜セ 北海道道南農試 植調北海道 宮城園研 石川砂丘地 (5)	[一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)] ・ 生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3-5葉期) ・ 150mL<100, 150L>, 200mL<100L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要	実 ・ 継	実) [春夏作、露地; 一年生イネ科雑 草 (スズメノカタビラを除く)] ・ 生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3-5葉期) ・ 150~200mL<100~150L>/10a ・ 茎葉処理 継) ・ 年次変動の確認 (北海道: 150mL)
15. SYJ-100乳 プロスホカルブ [®] 78.4% [シンジエンタージャパン]	ニンジン	適用性 継続	北海道花・野菜セ 植調北海道 愛知農総試 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・ 播種後出芽前 雑草発生前 ・ 400, 500mL<100L> ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) コーゴ [®] -サン乳剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作、露地; 一年生雑草] ・ 播種後出芽前 雑草発生前 ・ 400~500mL<100L>/10a ・ 土壌処理

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
16. TMZ-9911液 有効成分:99% [アリスタ ライフサイエンス]	ミョウガ	適用性 継続	山形農研農生技 く中間 植調研究所 (2)	[一年生雑草] ・ 植付前 雑草生育前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) クロビ' クリン液 30L (3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起 (3日間放置) →定植	実 継	実) [春夏作、露地; 一年生雑草] ・ 植付前 雑草発生前 ・ 15~20kg/10a ・ 土壌くん蒸処理 注) ・ 薬剤容器を被覆資材下に設置 し、くん蒸処理後3日間密閉、放 置する。処理4日後に被覆除去 し、処理後7日を目安に耕起す る。耕起4日以後に植付ける。 継) ・ 10kg処理での効果の確認
	ネギ* (直 播)	適用性 新規	奈良農総試 福岡農総試 (2)	[一年生雑草] ・ 播種前 雑草生育前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) バ' スアミ' 微粒剤 30kg 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起 (3日間放置) →播種	継	継) 効果、薬害の確認
	ショウガ	適用性 継続	植調研究所 千葉大環境健康ファ クト' (2)	[一年生雑草] ・ 植付前 雑草生育前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) クロビ' クリン液 30L (3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起 (3日間放置) →定植	継	継) 効果、薬害の確認
17. YF-65L液 シ' クワット:7%、 バ' ラコート:5% [シン' エンタ' ジ' ャ' ン]	タケノコ	適用性 継続	石川林業 植調研究所 植調埼玉 徳島農技 福岡林業 (5)	[雑草全般] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 1000mL<100, 150L>、 2000mL<100L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 一任	実	実) [一年生雑草、多年生雑草] ・ タ' 生育期 タ' ノ' 萌芽前 雑草生育期 ・ 1000~2000mL <100~150L>/10a ・ 雑草茎葉処理 注) ・ タ' に飛散しないように散布す る ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する
	タケノコ	薬害 継続	石川林業 植調研究所 徳島農技 福岡林業 (4)	[倍量薬害] ・ タ' ノ' 発生 (萌芽) 前 ・ 2000, 4000mL<100L> ・ 茎葉処理		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
18. ZK-122液 グリホサートカリウム塩: 44.7% [シンジエンタ ジャパン]	ホウレンソウ	適用性 継続	植調青森 京都丹後 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100L>, 500mL<25L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 液剤 250mL<50L>	実	実) 従来どおり [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)
	アスパラ ガス	適用性 新規	長野野菜花き試 福岡筑後 (2)	[雑草全般; スギナ] ・ 収穫打ち切り後萌芽前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<25, 100L>, 1000mL<25L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ハーベック 液剤 750mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ヤマノイモ	適用性 継続	青森畑園試<中間> 三重農研<中間> (2)	[一年生雑草] ・ 植付又は耕起前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100L>, 500mL<25L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 液剤 250mL<50L>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または植付前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)
	ヤマノイモ	薬害 継続	青森畑園試<中間> 三重農研<中間> (2)	[倍量薬害] ・ ①植付直前 ②植付3日前 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要		
19. トリフルアリン乳 トリフルアリン: 44.5% [タケウケカル日本]	ネギ	薬害 新規	奈良農総研 島根農技 (2)	[倍量薬害] ・ 培土後 雑草発生前 ・ 300, 600mL<100L> ・ 土壌処理	実	実) 従来どおり [春夏作、露地; 一年生雑草 (ツユクサ科、カタクリ科、キ科、アブラナ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 200~300mL<100L>/10a [春夏作、露地; 一年生雑草 (ツユクサ科、カタクリ科、キ科、アブラナ科を除く)] ・ 生育期、培土後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 200~300mL<100L>/10a

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
20. トリフルアリン粒 トリフルアリン: 2.5% [タケノコ・タネ・タネ日本]	ネギ	葉害 新規	奈良農総 島根農技 (2)	[倍量葉害] ・ 培土後 雑草発生前 ・ 5, 10kg ・ 土壌処理	実	実) 従来どおり [春夏作、露地; 一年生雑草 (ワケナ 科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を 除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 4~5kg/10a [春夏作、露地; 一年生雑草 (ワケナ 科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を 除く)] ・ 生育期、培土後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 4~5kg/10a

B. 平成19年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. MON-96A液 クマリンホートアンモニウム 塩: 41% [日産化学工業]	アスパラ ガス	適用性 継続	北海道花・野菜 (H19秋処理; 翌春調 査) (1)	[スギナ] ・ 生育期 スギナ生育期 秋処理 (9月) ・ 2000mL<25, 50> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 一任	実	実) 従来どおり [春夏作; スギナ] ・ 生育期 スギナ生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 2000mL<25~50L>/10a (専用ノズルを使用する) 注) ・ スギナの草丈30cm以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。
2. SYJ-171液 パラコート 12.4% [シンジェンタ ジャパン]	レタス	適用性 継続	宮城園研 (1)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) プリグロックスL液剤600mL<100>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500~1000mL<100~150L>/10a 注) ・ 作物に飛散しないように散布 する ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する

C. 平成19年度秋冬作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
1. ZK-122液 クァリサートカリウム塩 43% [シンジエント ジャパン]	サトウ	薬害 継続	<三重植防> (2)	[薬害試験] ・ 定植直前、3日前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25> ・ 展着剤不要	保 留	—
3. リニロン水和 リニロン 50% [デュボン]	ニンニク	適用性 継続	青森農総セ 青森畑園試 (2)	[一年生雑草] ・ 植付前マルチ前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 100, 150g<100> 対) コーゴースン乳	—	・ 前回の判定どおり
	ニンニク	薬害 自主	青森農総セ 青森畑園試 (2)	[薬害試験] ・ 植付前マルチ前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 150, 300g<100> 対) コーゴースン乳 400mL<100>		

D. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AH-01液 クァリホネートPナトリウム塩 :11.5% [明治製菓、北興化学 工業]	カーネーション	適用性 継続	北海道花・野菜セ 長野野菜花き試 広島農技 長崎総農試<中間> (4)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150L> ・ 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作(カーネーション);一年生雑 草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布す る。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。
	ストック	適用性 新規	千葉暖地園研 広島農技 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150L> ・ 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液剤 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ユリ	適用性 新規	新潟農総園研 鹿児島農総セ (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150L> ・ 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液剤 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認

D. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草: ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL/水量 L / 10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
2. AKD-7175粒 DBN:1.2%、 シアナジン:3% [アケロカネショウ]	花木 (ツツシ・サツキ)	適用性 新規	植調研究所 植調埼玉 新中国G研 (3)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・ 雑草発生初期 (草丈20cm以下) ・ 20, 30, 40kg ・ 土壌処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	花木 (アベリア)	適用性 新規	新中国G研 (1)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・ 雑草発生初期 (草丈20cm以下) ・ 20, 30, 40kg ・ 土壌処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	花 木 (ヘニカナメチ)	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・ 雑草発生初期 (草丈20cm以下) ・ 20, 30, 40kg ・ 土壌処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認
3. ANK-553細粒 ペンデイメタリン:2% [BASFアケロ]	花木 (ツツシ)	適用性 継続	東日本G研 鳥取園試 (2)	[一年生雑草 (キ科、ユキ科を除く)] ・ 植付後生育期 雑草発生前 ・ 4, 5, 6kg ・ 土壌処理	実・ 継	実) [(ツツシ、サツキ): 一年生雑草] ・ 生育期 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 4~6kg/10a 継) ・ 植付直後処理での薬害について 年次変動の確認
4. FUIN-2粉粒 タゾメット:98% [アケロカネショウ]	キク	適用性 継続	鹿児島農総セ (1)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・ 播種または定植前 ・ 30, 60kg ・ 土壌混和处理 処理方法) 本剤散布→深さ15~25cmの土壌と十分混和→ビニール等で被覆 (7~14日間) →被覆除去→2回以上耕起 (ガス抜き) →播種または定植	実・ 継	実) [春夏作 (キク、トルコギキョウ、リンドウ、ユリ): 一年生雑草] ・ 播種または定植21日以前 20~60kg/10a 土壌混和处理 注) ・ 深さ15~25cmに土壌と十分混和後ビニール被覆、7~14日後被覆を除去して少なくとも2回以上の耕起によるガス抜きを行う
	トルコギキョウ	適用性 継続	山形庄内産地研 (1)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・ 播種または定植前 ・ 30, 60kg ・ 土壌混和处理 処理方法) 本剤散布→深さ15~25cmの土壌と十分混和→ビニール等で被覆 (7~14日間) →被覆除去→2回以上耕起 (ガス抜き) →播種または定植	継	継) ・ ユリでの効果について年次変動の確認 ・ ガス抜き直後定植での薬害について

D. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
FUIN-2粉粒	ユリ	適用性 継続	広島農技 鹿児島農総セ (2)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・ 播種または定植前 ・ 30, 60kg ・ 土壌混和処理 処理方法) 本剤散布→深さ15~25cmの土壌と十分混和→ビニール等で被覆(7~14日間)→被覆除去→2回以上耕起(かき抜き)→播種または定植		
	リンドウ	適用性 継続	茨城農総研 (1)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・ 播種または定植前 ・ 30, 60kg ・ 土壌混和処理 処理方法) 本剤散布→深さ15~25cmの土壌と十分混和→ビニール等で被覆(7~14日間)→被覆除去→2回以上耕起(かき抜き)→播種または定植		
5. GG-152微粒 クワリホートイソプロピルアミン塩:3%、 フルメタキシン:0.1% [日本クワリーアントカーテン]	花木 (ツバキ・サザンカ)	適用性 継続	福島農総セ 植調研究所 埼玉森林緑化研 (3)	[一年生雑草] ・ 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 10, 15, 20kg ・ 茎葉処理 対) クワリホートイソ微粒剤 15kg	実・ 継	実) 従来どおり [(ツツジ、サツキ); 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 雑草茎葉処理 ・ 10~20kg/10a 注) ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・ 作物に飛散ないように散布する。 継) ・ ツバキ、サザンカでの効果、薬害の確認
6. GL-40液 クワリホートイソプロピルアミン塩:1.3%、 MCPAイソプロピルアミン塩:0.25% [住友化学園芸]	花木 (アフリカマンリ)	適用性 継続	植調研究所 埼玉森林緑化研 (2)	[一年生雑草、多年生雑草、スギナ] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 20, 25, 40L (希釈せずそのまま散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイポート液剤 250mL<50L>	実・ 継	実) [花木; 一年生雑草、多年生広葉雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 雑草茎葉処理 ・ 20~40L/10a (希釈せずそのまま散布) 注) ・ 専用容器を使用する。 ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・ 作物に飛散ないように散布する。 ・ 試験された花木;
	花木 (アフリカマンリ)	薬害 継続	埼玉森林緑化研 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 40, 80L (希釈せずそのまま散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		

D. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
GL-40液 [委託者]	花木 (サ クラ)	適用性 継続	山形農研農生技 植調研究所 千葉大園芸 (3)	[一年生雑草、多年生雑草、スギナ] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 20, 25, 40L (希釈せずそのまま 散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 液剤 250mL<50L>		ツツジ、サツキ、アブラチャン、サクラ、ツバキ、レ ンギョウ (継) ・ 多年生イネ科雑草に対する効果の 確認 ・ スギナに対する効果の確認 ・ アブラチャン、サクラでの多年生雑草に 対する効果の確認
	花木 (サ クラ)	薬害 新規	山形農研農生技 千葉大園芸 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 40, 80L (希釈せずそのまま散 布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	花木 (ツ ツジ 類)	適用性 継続	東日本G研 埼玉森林緑化研 三重農研鈴鹿 岡山北部 (4)	[一年生雑草、多年生雑草、スギナ] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 20, 25, 40L (希釈せずそのまま 散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 液剤 250mL<50L>		
	花木 (ツ ツジ 類)	薬害 継続	東日本G研 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 40, 80L (希釈せずそのまま散 布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	花木 (ツ バキ)	適用性 継続	東日本G研 植調埼玉 千葉大園芸 (3)	[一年生雑草、多年生雑草、スギナ] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 20, 25, 40L (希釈せずそのまま 散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 液剤 250mL<50L>		
	花木 (ツ バキ)	薬害 新規	東日本G研 千葉大園芸 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 40, 80L (希釈せずそのまま散 布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	花木 (レ ンギョウ)	適用性 継続	山形農研農生技 植調研究所 植調埼玉 (3)	[一年生雑草、多年生雑草、スギナ] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 20, 25, 40L (希釈せずそのまま 散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 液剤 250mL<50L>		

D. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
GL-40液	花木 (レ ンギョウ)	薬害 新規	植調研究所 植調埼玉 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 40, 80L (希釈せずそのまま散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
7. Hoe-866液 グロホネット18.5% [ハ ^イ エル クロップ [®] サイエ ン ス]	カーネー ン	適用性 継続	茨城農総研 (1)	[一年生雑草] ・ 雑草生育期 (草丈20cm以下) ・ 300mL<100, 150L> ・ 500mL<100L> ・ 畦間茎葉処理	保 留	一: 前年どおり
8. HPW-101粒 オリザ [®] リン:1.1%、 ベ [®] スリン:1.1% [保土谷UPL]	花木 (ツ ツジ・サツ キ)	適用性 新規	植調研究所 埼玉森林緑化研 岡山北部 (3)	[一年生雑草 (キ科を除く)] ・ 生育期 雑草発生前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌処理 対) スナップ ショット粒剤 6kg	継 (継)	・ 効果、薬害の確認
9. MBH-082液 グロホネットイソフ [®] ロビ [®] ルアミン 塩:0.5% MCPAイソフ [®] ロビ [®] ルアミン塩 :0.1%、 新規化合物A:0.4% [丸和ハ ^イ イカミル]	花木 (ツ ツジ・サツ キ)	適用性 新規	福島農総 植調研究所 植調埼玉 (3)	[一年生雑草、多年生雑草、スギナ] ・ 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 40, 60, 80L (希釈せずそのまま散布) ・ 茎葉兼土壌処理 対) 草退治シャワー 25L	継 (継)	・ 効果、薬害の確認
10. MRS-199液 グロホネットイソフ [®] ロビ [®] ルアミン 塩:1.0% [ニューファム]	花木 (ツ ツジ [®] 類)	適用性 継続	東日本G研 埼玉森林緑化研 千葉大園芸 三重農研鈴鹿 鳥取園試 福岡果樹苗木 (6)	[雑草全般] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 25, 40L (希釈せずそのまま散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ライトアップ ハイロード [®] 液剤 250mL<50L>	実 ・ 継	実) [ツツジ、サツキ; 一年生雑草、多年 生広葉雑草 (スギナを除く)] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 雑草茎葉処理 ・ 25~40L/10a (希釈せずそのまま散布) 注) ・ 専用容器を使用する。 ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。 継) ・ 多年生イネ科雑草に対する効果の 確認 ・ その他樹種への拡大

D. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
11. NC-622液 グリホサートカリウム塩:48% [日産化学工業]	カーネーション	適用性 新規	<茨城農総研> 広島農技<中間> 長崎総農試<中間> (3)	[一年生雑草、多年生雑草(スギナを除く)] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L> ・ 茎葉処理	継	(継) ・ 効果、薬害の確認
	カーネーション	薬害 新規	広島農技<中間> 長崎総農試<中間> (2)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 土壌処理		
	キク	適用性 新規	北海道花・野菜セ 愛知農総試 奈良農技<中間> (3)	[一年生雑草、多年生雑草(スギナを除く)] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L> ・ 茎葉処理	継	(継) ・ 効果、薬害の確認
	キク	薬害 新規	奈良農技<中間> (1)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 土壌処理		
	ストック	適用性 新規	山形置賜産地研 千葉暖地園研 (2)	[一年生雑草、多年生雑草(スギナを除く)] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L> ・ 茎葉処理	継	(継) ・ 効果、薬害の確認
	ストック	薬害 新規	富山野菜花き試 千葉暖地園研 (2)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 土壌処理		
	ヒマワリ	適用性 新規	北海道農研 宮城園研 山形庄内産地研 奈良農技 (4)	[一年生雑草、多年生雑草(スギナを除く)] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L> ・ 茎葉処理	継	(継) ・ 効果、薬害の確認
	ヒマワリ	薬害 新規	山形庄内産地研 富山野菜花き試 (2)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 土壌処理		

D. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
NC-622液	ユリ	適用性 新規	新潟中山間地 鹿兒島農総セ (2)	[一年生雑草、多年生雑草 (スギナを 除く)] ・ 耕起前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L> ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ユリ	薬害 新規	新潟中山間地 山口花き振興 (2)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 土壌処理		
	リントウ	適用性 新規	茨城農総研 (1)	[一年生雑草、多年生雑草 (スギナを 除く)] ・ 耕起前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L> ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	リントウ	薬害 新規	茨城農総研 (1)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 土壌処理		
12. SYJ-175液 グリホサートカリウム塩 : 0.86% [シジエンタ ジャパン]	花木 (ア ペリア)	適用性 新規	植調研究所 千葉大園芸 新中国G研 (3)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 25, 50L (希釈せずそのまま散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) コソギAL 100L (希釈せずそのまま散布)	実 ・ 継	実) [花木; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 茎葉処理 ・ 25~50L/10a (希釈せずそのま ま散布) 注) ・ 専用容器を使用する。 ・ 雑草の草丈30cm以下で散布す る。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。 ・ 試験された花木: ツツジ、サツキ、アペリア、サザンカ、ハナミ ス、ベニナメチ 継) ・ 年次変動の確認 (ツツジ、サツキ、アペ リア、サザンカ、ハナミス、ベニナメチ) ・ 多年生雑草に対する効果の確認
	花木 (サ ザンカ)	適用性 新規	東日本G研 岡山北部 新中国G研 (3)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 25, 50L (希釈せずそのまま散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) コソギAL 100L (希釈せずそのまま散布)		
	花木 (ツ ツジ・サツ キ)	適用性 新規	植調研究所 植調埼玉 三重農研鈴鹿 鳥取園試 岡山北部 福岡果樹苗木 (6)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 25, 50L (希釈せずそのまま散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) コソギAL 100L (希釈せずそのまま散布)		

D. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
SYJ-175液	花 木 (ハ ナミキ)	適用性 新規	東日本G研 千葉大園芸 新中国G研 (3)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 25, 50L(希釈せずそのまま散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ねミキAL 100L(希釈せずそのまま散布)		
	花 木 (ハ ニカ ミチ)	適用性 新規	東日本G研 三重農研鈴鹿 新中国G研 (3)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 25, 50L(希釈せずそのまま散布) ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ねミキAL 100L(希釈せずそのまま散布)		
13. TMZ-9911液 ヨウ化ナトリウム:99% [アリス ライフサイエンス]	花 き 一 般	作用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・ 床土ポット詰め前 ・ 250g/m ² ・ 盛り土(1m ³) ; ①1.3m×1.3m×高さ0.3m ②1.3m×1.3m×高さ0.6m ③1.3m×1.3m×高さ0.9m ・ 土壌くん蒸処理 処理方法) ①雑草種子を含む土壌を試験設 計どおり盛り土後、上面の中心 点に薬剤を設置する。 ②盛り土全体を農機などで被覆 し処理を行う。 ③3日間くん蒸後被覆を除去し、7 日後を目安に攪拌し、さらに3日 以上放置する。	継	継) ・ 効果、薬害の確認

D. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量 L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
TNZ-9911液	ペチュニア	適用性 新規	山形置賜産地研 広島農技 福岡農総試 (3)	[一年生雑草] ・ 床土ポット詰め前 ・ 125, 250, 500g/m ³ ・ 盛り土 (1m ³) ; 1.3m×1.3m×高さ0.6m ・ 土壌くん蒸処理 処理方法) ①雑草種子を含む土壌を試験設 計どおり盛り土後、上面の中心 点に薬剤を設置する。 ②盛り土全体を農ビなどで被覆 し処理を行う。 ③3日間くん蒸後被覆を除去し、7 日後を目安に攪拌し、さらに3 日以上放置する。		
	カーネーション	適用性 継続	〈茨城農総研〉 (1)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) クロビクシン液 30L (3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起 (3日間放置) →定植	保 留	ー: 従来どおり
14. YF-65L液 シクラット:7%、 バコート:5% [シンジエンタ ジャパン]	キ	適用性 継続	福島農総試 長野野菜花き試 愛知農総試 鹿児島農総試 (4)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 (草丈20cm以下) ・ 600mL<100, 150L> 1000mL<100L> ・ 畦間茎葉処理 対) バス液 300mL<100L>	実 ・ 継	実) [春夏作(キ); 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 600~1000mL<100L>/10a 注) ・ 雑草の草丈20cm以下で散 布 する。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。 継) ・ 水量150Lでの効果、薬害の確認

E. 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. T-2000S粒剤 <i>Pseudomonas fluorescens</i> FPT-9601、 10^7 cfu/g 固定土 [多木化学]	レタス	適用性 継続	岩手農研南部 植調研究所 長野野菜花き試 和歌山農試 福岡豊前 南九州大学 (6)	[育苗期の伸長抑制] ・ 播種時 ・ 400mL/200穴トレイ ・ 覆土として使用	実 ・ 継	実) [春夏作(レタス);育苗期の伸長抑制] ・ 播種時 ・ 400mL/200穴トレイ ・ 覆土として使用 継) ・ 効果の変動要因について

F. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. JFR-010水溶液 ジベレリン:5% [丸和ベイタカル]	キ	適用性 継続	愛知東三河 鹿兒島農総セ (2)	[草丈伸長促進] ・ 生育期 ・ ①1000倍 (GA50ppm) 1回 ・ ②1000倍 (GA50ppm) 2回 (散布間隔7~10日) ・ ③500倍 (GA100ppm) 1回 ・ ④500倍 (GA100ppm) 2回 (散布間隔7~10日) ・ 茎葉処理 対) ジベレリン粉末または液剤 生育期 50~100ppm (2回散布)	実	実) 従来どおり [キ;草丈伸長促進] ・ 生育期(栄養成長期) ・ 500~1000倍 2回以内 ・ 茎葉処理(十分量)
2. NGR-081水溶液 イソフチオン:0.01% [日本農薬]	キ	作用性 新規	植調研究所 (1)	[発根促進] ・ 定植前 ①挿し穂基部浸漬 (10, 50mL/1L) ②挿し穂全体浸漬 (1, 5mL/1L) 対) イソフチオン液 慣行量	継	継) ・ 効果、葉害の確認
	キ	適用性 新規	愛知東三河 岐阜農技研 広島農技 沖縄農研<中間> (4)	[発根促進] ・ 定植前 ③挿し穂基部浸漬 (10, 50mL/1L) ④挿し穂全体浸漬 (1, 5mL/1L) ・ 対) イソフチオン液 慣行量		

F. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
3. NPK-063粒 フルプロリミール:1% [日本農薬]	花木 (ア ベリア)	適用性 継続	(0)	[新梢伸長抑制による剪定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 10, 20, 30kg ・ 土壌混和处理	実 ・ 継	実) [花木; 新梢伸長抑制による剪 定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 土壌混和处理 ・ 10~30kg/10a ・ 適用の確認された樹種; カイヅカイフキ、ヒバ、イヌツゲ、イヌマキ、ツ ジ、ベニカナメチ 継) ・ その他の樹種での効果、被害の 確認
	花木 (ウ ハ・メカ シ)	適用性 継続	新中国G研 (1)	[新梢伸長抑制による剪定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 10, 20, 30kg ・ 土壌混和处理		
	花木 (ト ウネス・ミ チ)	適用性 継続	＜東日本G研＞ (1)	[新梢伸長抑制による剪定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 10, 20, 30kg ・ 土壌混和处理		
4. YS-071液 ウニコナゾールP:0.0016% [ヤマ産業]	ベチニア	適用性 継続	宮城園研 神奈川農技セ 長野野菜花き試 兵庫農技セ (4)	[茎葉伸長抑制による小型化] ・ ①定植後 (定植後3日程度) ②剪定後 ・ 1本/株 (33mLアンプル 0.0016%) 5号鉢を使用 ・ アンプルを土壌に挿入 対) ヒーニン水溶剤80 100~200倍 茎葉散布	継	継) ・ 効果、被害の確認
5. シベレリン水溶 シベレリン:3.1% [日本シベレリン研究 会]	リアトリス	適用性 新規	新潟高冷地 富山野菜花き試 (2)	[生育促進] ・ 植付時 ・ 50, 100ppm ・ 球根浸漬	継	継) ・ 効果、被害の確認
		薬害 自主	富山野菜花き試 (1)	[生育促進] ・ 植付時 ・ 100, 200ppm ・ 球根浸漬 比) シベレリン液 100, 200ppm		
6. ダミノジット水溶 ダミノジット:80% [日本曹達]	アザレア	適用性 新規	山形農研農生技 ＜中間＞ ＜新潟農総園研＞ 福岡果樹苗木 ＜中間＞ (3)	[茎の伸長抑制] ・ 200, 400倍希釈 (散布量50~150L/10aの範囲で 十分量) ・ ①摘芯後 1回 (摘芯約1ヶ月後) ②摘芯後 2回 (2回目は1回目の約1ヶ月後) ③摘芯後 3回 (3回目は2回目の1-2ヶ月後) ・ 茎葉処理	保 留	—

F. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ガミジッド®水溶 [委託者]	キ	適用性 継続	愛知東三河 広島農技 沖縄農研<中間> (3)	[節間伸長抑制] ・ 500, 1000, 1500倍希釈 (散布量50～150L/10aの範囲で 十分量) ・ ①定植～発蕾前 1回 ②定植～発蕾前 4回 ③定植～発蕾前 4回 →発蕾期～摘蕾期 2回 ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	キ	適用性 新規	鳥取園試 福岡農総試 <鹿児島農総> (3)	[節間伸長抑制] ・ 2000, 4000, 5000倍希釈 (散布量50～150L/10aの範囲で 十分量) ・ ①定植～発蕾前 1回 ②定植～発蕾前 4回 ③定植～発蕾前 4回 →発蕾期～摘蕾期 2回 ・ 茎葉処理		
	ハボタン	適用性 新規	山形置賜産地研 <中間> 兵庫農技 広島農技<中間> (3)	[茎の伸長抑制] ・ 200, 400倍希釈 (散布量50～150L/10aの範囲で 十分量) ・ ①鉢上げ後 1回 (鉢上げ約1週間後) ②鉢上げ後 2回 (2回目は1回目の2-3週間後) ③鉢上げ後 4回 (3回目は2回目の約1ヶ月後、4 回目は定植3日目) ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	バンジー	適用性 新規	群馬農技 千葉農総花緑 <神奈川農技> (3)	[茎の伸長抑制] ・ 200, 400倍希釈 (散布量50～150L/10aの範囲で 十分量) ・ ①鉢上げ後 1回 (鉢上げ約1週間後) ②鉢上げ後 2回 (2回目は1回目の約2週間後) ③鉢上げ後 4回 (3回目は2回目の約2週間後、4 回目は3回目の2週間後) ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認

F. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ガミナシット水溶 [委託者]	ペチュニア	適用性 新規	山形置賜産地研 神奈川農技 奈良農技 (3)	[茎の伸長抑制] ・ 200, 400倍希釈 (散布量50～150L/10aの範囲で 十分量) ・ ①鉢上げ後 1回 (鉢上げ約1週間後) ②鉢上げ後 2回 (2回目は1回目の約2週間後) ③鉢上げ後 4回 (3回目は2回目の2-3週間後、4 回目は3回目の2週間後) ・ 茎葉処理	継	(継) ・ 効果、葉害の確認
7. S-327D 液 ウニコソール-P:0.025% [住友化学]	シンフォリカ ルボス	適用性 自主	長野南信 (H19, H20) 長野野菜花き (H19, H20) (4)	[伸長抑制による小型化] ・ 10, 20, 40ppm 十分量を散布 ・ 鉢上げ時(摘芯時)→鉢上げ20 日後→鉢上げ40日後 計3回	実	(実) [シンフォリカルボス(鉢栽培); 茎葉の 伸長抑制による小型化] ・ 鉢上げ時(摘芯時)およびその後 約20日間隔で2回 ・ 12.5倍(20ppm)～25倍(10ppm) 十分量(3回処理) ・ 茎葉処理 (注) ・ 散布後液溜まりとなった部分に は、一過性の黒変症状が観察さ れる場合がある

G. 平成19年度春夏作分 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. YS-071液 既知化合物 [ヤマ産業]	ペチュニア	作用性 新規	山形置賜産地研 (1)	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ ①定植直後(定植後3日程度) ・ ②生育期 ・ 1本/株 (33mLアンプル) (1) 0.0010%, (2) 0.0016%, (3) 0.0025% ・ アンプルを土壤に挿入 対) スミゲンP液 1mL<50～100mL> 土壤灌注	—	・ 従来どおり